啓林館　ELEMENT English CommunicationⅠ(CⅠ712)　観点一覧

◆内容の取扱い

1. 言語材料は，使用頻度・活用範囲・一般的な配列順などを総合的に判断して配列し，教師にとって教えやすく，生徒にとって学びやすい教科書になっている。

2. 中学英語からのスムーズな移行を目指し，序盤の3課までに中学英語の復習を兼ねた語彙・言語材料を配置している。また，語数・使用語彙や表現などについて，段階的に変動するように設定してある。

3. 自国や他国の文化に触れ，新しい発見につながるような題材が厳選してあり，生徒の知的好奇心を駆り立て，学力向上や精神的な成長に寄与できるようになっている。

4. 説明文・伝記・物語など，さまざまな文体や使用場面に応じた英文が用意してある。

5. 聞いたり読んだりした内容を理解し，それをもとに自分の考えを述べたり，文章にまとめたりする機会が設定してある。

◆単元の構成・配列および分量

1. 教科書の巻頭には，音読などの英語学習の方法(Tips for Learning English)，各課の活動内容とそれぞれの目標(Course Overview)を掲載し，学習の目的や活動内容がスムーズに把握できるようにしている。

2. 本課を8課，読み物(Further Reading)を2課設けている。

3. 各課の扉ページは写真・図・導入リスニング・英問で構成され，英語による導入を行いやすく工夫してある。

4. 本文の前に，各課のテーマに関連した語彙を学習するページ(Vocabulary)と，テーマに関連したリスニングやディクテーション活動を行うページ(Listening)を設け，本文を読む前のインプット活動が豊富に行えるようにしている。

5. 本文は500～1,000語程度の標準的な英語で構成され，習熟度に応じて段階的に学習が進められるようにしている。本文を見開きで収録することで，全体のパラグラフ構成を見通しながら読み進められる形式にしてある。

6. 課末課題は①本文に関する内容理解・リテリング(TRY) ②文法(Language Function) ③各課のテーマに関するスピーキング活動(Speaking)　④各課のテーマに関するライティング活動(Writing)　に分けて配列され，目的に応じて使用できるようにしてある。また巻末には，文法項目の確認と定着を目的とした解説と演習問題(Wrap Up Grammar)も掲載している。

7. 巻末に，各課の題材に関連する200～250語程度の英文と英問（Speed Reading）と，新出単語の英英定義（New Words & Phrases）を掲載し，速読の演習や新出語の意味の確認ができるようにしてある。

8. 各所にQRコードを示し，新出語や本文，本文の要約などの音声が確認できるようにしている。